

「黙示録21:3, 4」

神ご自身が
彼らと共におられて
彼らの目の涙を
拭(ぬぐ)い取ってくださる

神は彼らと共に住み
彼らはその民となる

69 鹿のように

谷川のながれを慕う鹿のように
主よわがたましいあなたを慕う
あなたこそわがたて
あなたこそわが力
あなたこそわが望み
われは主をあおぐ

新聖歌27番 「来る朝ごとに」

- 1 来る朝ごとに 朝日と共に 神の光を 心に受けて
愛のみむねを 新たに悟る
- 2 来る朝ごとに罪を聖むる 恵みのつゆは天より下り
神の幸(さち)をぞ 新たに添(そ)うる
- 3 来る朝ごとに業と言葉を 聖めわかちて神に獻げば
ささぐる宝 いや増したまわん
- 4 来る朝ごとに とるわが努め 人を愛して己に勝たば
神に近づく 道とこそなれ
- 5 来る朝ごとに祈れるごとく 歩み正しくまさみち進み
きよき休みに 入(い)らしめたまえ アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌263番 「罪咎(とが)を赦され 神の子とせられ」

1 罪咎(とが)を赦され 神の子とせられ

大いなる喜び われにあり

* 麗(うるわ)しき笑顔と 力ある御手もて 常に導きたもう

イエスキミの 愛の広さ深さ われ歌わん

2 わが心は開き 感謝に満ちあふれ

新たなるほめ歌 常にあり * (くりかえし)

3 今 常世(とこよ)の岩に 支えらるる身は

陰府(よみ)をも 死をもなど 恐るべき * (くりかえし)

4 われ世(よ)にある限り イエスをほめ歌わん

天(あま)つ国に行かば なお歌わん * (くりかえし)

アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらの日用(にちよう)の糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌63番 父 御子 御霊の

ちち みこ みたまの
おお みかみに

ときわに たえせず
みさかえあれ
みさかえあれ
アーメン